



水虫は治る？

水虫は、角層に寄生する浅在性の「白癬菌(真菌・カビ)感染症です。カビ自身が高温多湿を好みますから、汗をかいて蒸れやすい夏場に増悪の傾向が見られます。

「水虫は治らない」と言われる方

か。ありますが、実際には治らないわけではありません。現に多くの外用薬が販売されており、その効果も実証されています。では、なぜ治りにくいのでしょうか。

水虫の症状と治療

水虫の症状として、写真に示したように、趾間型、小水疱型、角質増殖型の3タイプがあります。水虫は必ずしも痒み(かゆみ)を

伴うわけではありません。一般に水疱を形成する場合に痒みを伴うことが多いですが、痒みを伴う水虫は全体の1/3以下です。

今回は、「水虫」について皮膚科の鈴木伸吾先生にお話を伺いました。

蒸し暑い日が続きますが、こんな時期に悪化するのが水虫です。

日本人では4人に一人が罹患していると言われるほどのポピュラーな病気です。



症状が現れにくいいため受診が遅れたり、症状がなくなつたため外用をやめてしまう場合が多いのです。水虫の薬をつけて一見治つたかのように見えても、塗り薬をしばらく(少なくとも1〜2ヶ月)は続けることが必要です。

消毒や酢などは、一時的には白癬

爪の水虫

角質を好む水虫は、爪や体のいろいろな部分に広がる場合があります。

爪に入った場合、難治で再発したり、引つ掻いて他の部位に広がる場合があります。体に広がった場合は、俗にタムシと呼ばれています。

菌に効果はありませんが、角層内にある白癬菌には無効で、かえって刺激になつて湿疹を作ることがあるので、水虫の外用薬で治療を行うとださいます。

爪が水虫になつた場合は、外用薬のみでは十分な効果が出ないため、内服薬での治療を行います。以前から水虫の内服薬はありましたが、近年新しい内服薬が販売され効果も上がっています。適応に応じて内服も行いましょう。



水虫の予防と注意